



ログイン

利用者登録

申請団体選択

› 手続き申込

› 申込内容照会

› 職責署名検証

手続き申込



手続き選択をする



メールアドレスの確認



内容を入力する



申し込みをする

申込

選択中の手続き名：学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査

問合せ先 [+開く](#)

説明

【回答上の注意】

- ご回答は、選択肢を選ぶ場合と、数字や具体的な内容を入力いただく場合があります。設問文に従ってご回答ください。
- 複数回答が可能な設問については、選択部分を2回押すことでその選択が解除されます。
- 回答は1人1回限りです。所要時間は10～15分程度です。
- 集計結果を含めた報告書は、個々の回答が特定できないよう編集し、熊本県のホームページなどで公表します。

受付時期

2021年8月23日0時00分～2021年10月1日0時00分

基本情報

問1 ご回答された方の役職をお教えてください。あてはまる番号1つを選択してください。

必須

- 1. 校長
- 2. 副校長・教頭
- 3. 主幹・主任教諭（具体的に記載）

- 4. 養護教諭
- 5. スクールソーシャルワーカー（SSW）
- 6. スクールカウンセラー（SC）
- 7. その他

選択解除

問2 貴校の学校区分をお教えてください。あてはまる番号1つを選択してください。

必須

- 1. 小学校 →問4へ
- 2. 中学校 →問4へ
- 3. 高等学校（全日制） →問3へ
- 4. 高等学校（定時制） →問3へ
- 5. 高等学校（通信制） →問3へ

選択解除

問3 問2で「3」「4」「5」を選択された方へ、単位制の有無を選択してください。

必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 単位制あり
- 2. 単位制なし

選択解除

問4 貴校の所在地をお教えてください。

必須

選択してください



問5 人数についてお教えてください。

必須

小学校については小学6年生、中学校については中学2年生、高等学校については高校2年生の人数についてお教えてください。（令和3年5月1日時点）

人

支援が必要だと思われる子どもへの対応についてお伺いします。

問6 SSWの派遣・配置状況をお伺いします。あてはまる番号1つを選択してください。

必須

- 1. 週に2～3回以上派遣・配置されている
- 2. 週に1回程度派遣・配置されている
- 3. 月に数回以下で派遣・配置されている
- 4. 要請に応じて派遣される
- 5. その他

- 6. 派遣・配置されていない

選択解除

問7 SCの派遣・配置状況をお伺いします。あてはまる番号1つを選択してください。**必須**

1. 週に2～3回以上派遣・配置されている
2. 週に1回程度派遣・配置されている
3. 月に数回以下で派遣・配置されている
4. 要請に応じて派遣される
5. その他

6. 派遣・配置されていない

選択解除

問8 下記の子どもについて校内で共有しているケースはありますか。あてはまる番号すべてを選択してください。**必須**

1. 学校を休みがちである
2. 遅刻や早退が多い
3. 保健室で過ごしていることが多い
4. 精神的な不安定さがある
5. 身だしなみが整っていない
6. 学力が低下している
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
9. 学校に必要なものを用意してもらえない
10. 部活を途中でやめてしまった
11. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
12. 校納金が遅れる、未払い
13. その他

問9 問8のケースについて、どのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。**必須****最も多いケースでご回答ください。あてはまる番号1つを選択してください。**

1. 不登校の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している →問10へ
2. 不登校以外の子どものケースに関する校内の検討体制で検討している →問10へ
3. 個別に対応している（決まった検討体制はない） →問12へ

選択解除

問10 問9で「1」「2」を回答した方にお伺いします。 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

校内ではどのような体制で情報共有・対応の検討を行っていますか。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. スクリーニング会議（すべての子どもを対象として、問題の未然防止のために、データに基づいて、潜在的に支援の必要な子どもや家庭を適切な支援につなぐための迅速な識別を行う会議）
2. ケース会議
3. 生徒指導部・委員会など
4. 児童生徒理解・支援シートなど共通様式による情報共有
5. 教育相談コーディネーターなど学校内・関係機関との連絡調整・会議開催の調整など児童生徒の抱える課題の解決に向けて調整役として活動する教職員の配置・指名
6. その他

問11 問10で「1」と回答した方にお伺いします。どの教職員が参加していますか。

必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択してください。

1. スクリーニング会議

(参加者)

1. 校長
2. 副校長・教頭
3. 学年主任
4. 担任教諭
5. 生徒指導教諭
6. 養護教諭
7. SSW
8. SC
9. 外部の関係機関

10. その他

問11 問10で「1」と回答した方にお伺いします。会議の頻度はどれくらいですか。

必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号1つを選択してください。

1. スクリーニング会議

(頻度)

1. 2週間に1回以上
2. 月に1回程度
3. 半年に1回程度
4. 年に1回程度

選択解除

問11 問10で「2」と回答した方にお伺いします。どの教職員が参加していますか。

必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択してください。

2. ケース会議

(参加者)

1. 校長
2. 副校長・教頭
3. 学年主任
4. 担任教諭
5. 生徒指導教諭
6. 養護教諭
7. SSW
8. SC
9. 外部の関係機関

10. その他

問11 問10で「2」と回答した方にお伺いします。会議の頻度はどれくらいですか。

必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号1つを選択してください。

2. ケース会議

(頻度)

1. 2週間に1回以上
2. 月に1回程度
3. 半年に1回程度
4. 年に1回程度

選択解除

問11 問10で「3」と回答した方にお伺いします。どの教職員が参加していますか。

必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択してください。

3. 生徒指導部・委員会など

(参加者)

1. 校長
2. 副校長・教頭
3. 学年主任
4. 担任教諭
5. 生徒指導教諭
6. 養護教諭
7. SSW
8. SC
9. 外部の関係機関

10. その他

問11 問10で「3」と回答した方にお伺いします。会議の頻度はどれくらいですか。

必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号1つを選択してください。

3. 生徒指導部・委員会など

(頻度)

1. 2週間に1回以上
2. 月に1回程度

3. 半年に1回程度
4. 年に1回程度

選択解除

問11 問10で「6」と回答した方にお伺いします。どの教職員が参加していますか。

必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号すべてを選択してください。

4. その他

(参加者)

1. 校長
2. 副校長・教頭
3. 学年主任
4. 担任教諭
5. 生徒指導教諭
6. 養護教諭
7. SSW
8. SC
9. 外部の関係機関

10. その他

問11 問10で「6」と回答した方にお伺いします。会議の頻度はどれくらいですか。

必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あてはまる番号1つを選択してください。

4. その他

(頻度)

1. 2週間に1回以上
2. 月に1回程度
3. 半年に1回程度
4. 年に1回程度

選択解除

問12 問9で「3. 個別に対応している」と回答した方にお伺いします。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

問8のケースについて、貴校ではどのような体制・方法で情報共有・対応の検討を行っていますか。関わる教職員、情報共有や検討の方法、頻度等について、具体的にお教えてください。

入力文字数：0/150

問13 問8のケースについてお尋ねします。

学校以外の関係機関と連携して、必要に応じて情報共有や対応の検討を行うための体制がありますか。それぞれのケースについて、お答えください。また、連携体制がある場合は、連携する関係機関を選択肢からお選びください。

1 要保護児童対策地域協議会の登録ケース **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 体制は特にない
2. 体制はある →以下の関係機関であてはまる番号すべてを選択してください。
- (1) 市区町村教育委員会
- (2) 市区町村の福祉部門（4）を除く
- (3) 市区町村の保健部門
- (4) 市区町村の要保護児童対策地域協議会の調整機関／虐待対応部門
- (5) 教育支援センター（適応指導教室）
- (6) フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設
- (7) 児童相談所
- (8) 民生委員
- (9) 病院
- (10) 警察や刑事司法関係機関
- (11) その他

2 不登校のケース **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 体制は特にない

2. 体制はある →以下の関係機関であてはまる番号すべてを選択してください。
- (1) 市区町村教育委員会
- (2) 市区町村の福祉部門（4）を除く
- (3) 市区町村の保健部門
- (4) 市区町村の要保護児童対策地域協議会の調整機関／虐待対応部門
- (5) 教育支援センター（適応指導教室）
- (6) フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設
- (7) 児童相談所
- (8) 民生委員
- (9) 病院
- (10) 警察や刑事司法関係機関
- (11) その他

3 それ以外 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 体制は特にない
2. 体制はある →以下の関係機関であてはまる番号すべてを選択してください。
- (1) 市区町村教育委員会
- (2) 市区町村の福祉部門（4）を除く
- (3) 市区町村の保健部門
- (4) 市区町村の要保護児童対策地域協議会の調整機関／虐待対応部門
- (5) 教育支援センター（適応指導教室）
- (6) フリースクール・子ども食堂などの民間団体・施設
- (7) 児童相談所
- (8) 民生委員
- (9) 病院
- (10) 警察や刑事司法関係機関
- (11) その他

ヤングケアラーについてお伺いします。

問14 貴校では「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。あてはまる番号1つを選択してください。 **必須**

- 1. 言葉を知らない →問17へ
- 2. 言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない →問17へ
- 3. 言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない →問17へ
- 4. 言葉を知っており、学校として意識して対応している →問15へ

選択解除

問15 問14で「4」と回答した方にお伺いします。 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態を把握していますか。あてはまる番号1つを選択してください。

- 1. 把握している →問16へ
- 2. 「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない →問17へ
- 3. 該当する子どもはいない（これまでもいなかった） →問17へ

選択解除

問16 問15で「1」と回答した方にお伺いします。 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。あてはまる番号すべてを選択してください。

- 1. アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている
- 2. 特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している
- 3. その他

ヤングケアラーを把握していない方も含め、全員にお伺いします。

ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」のことを言います。ヤングケアラーの定義を踏まえて、以下の設問にお答えください。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

© 一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration : Izumi Shiga

問17 ヤングケアラーの定義を見てご回答ください。 必須

現在、貴校にヤングケアラーと思われる（可能性も含めて）子どもはいますか。あてはまる番号1つを選択してください。

1. いる →問18へ
2. いない →問26へ
3. わからない →問25へ

選択解除

問18 問17で「1. いる」と回答した方にお伺いします。 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

ヤングケアラーと思われる子どもの状況は下記のうちどれですか。あてはまる番号すべてを選択してください。

1. 障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている
2. 家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている
3. 家族に代わり、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている
4. 目を離せない家族の見守りや声掛けをしている
5. 家族の通訳をしている
6. 家計を支えるために、アルバイト等をしている

7. アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している
8. 病気の家族の看病をしている
9. 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている
10. 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている
11. その他

問19 ヤングケアラーと思われる子どもについてご回答ください。 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

具体的に学校以外の外部（教育委員会、役所、要保護児童対策地域協議会など）の支援につないだケースはありますか。あてはまる番号すべてを選択してください。（3の場合は、3のみ選択してください。）

1. 要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある →問20（1）へ
2. 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある →問20（2）へ
3. 外部の支援にはつないでいない（学校内で対応している） →問21へ

問20 問19で「1」と回答した方にお伺いします。 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

それぞれの該当する直近のケースについて、1件ずつお教えてください。

**問20（1）要保護児童対策地域協議会に通告したケース
性別（あてはまる番号1つを選択してください。）**

1. 女性
2. 男性
3. その他

選択解除

学年（あてはまる番号1つを選択してください。） 必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 小学1年生
2. 小学2年生
3. 小学3年生
4. 小学4年生
5. 小学5年生
6. 小学6年生

- 7. 中学1年生
- 8. 中学2年生
- 9. 中学3年生
- 10. 高校1年生
- 11. 高校2年生
- 12. 高校3年生

選択解除

学校生活の状況（あてはまる番号すべてを選択してください）

必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 学校を休みがちである
- 2. 遅刻や早退が多い
- 3. 保健室で過ごしていることが多い
- 4. 精神的な不安定さがある
- 5. 身だしなみが整っていない
- 6. 学力が低下している
- 7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
- 8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
- 9. 学校に必要なものを用意してもらえない
- 10. 部活を途中でやめてしまった
- 11. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
- 12. 校納金が遅れる、未払い
- 13. その他

家族構成（あてはまる番号すべてを選択してください）

必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. 祖母
- 4. 祖父
- 5. きょうだい
- 6. その他

家庭でのケアの状況を把握していますか（あてはまる番号1つを選択してください）**必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. はい →a) からc) へ
2. いいえ →ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけへ

選択解除

a) ケアを必要としている人（あてはまる番号すべてを選択してください）**必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他

b) ケアを必要としている人の状況（あてはまる番号すべてを選択してください）**必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 高齢（65歳以上）
2. 若い
3. 要介護（介護が必要な状態）
4. 認知症
5. 身体障がい
6. 知的障がい
7. 精神疾患（疑い含む）
8. 依存症（疑い含む）
9. 7, 8以外の病気
10. その他

11. わからない

c) ケアの内容（あてはまる番号すべてを選択してください）

必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 家事（食事の準備や掃除、洗濯）
2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など
3. 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）
4. 外出の付き添い（買い物、散歩など）
5. 通院の付き添い
6. 感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）
7. 見守り
8. 通訳（日本語や手話など）
9. 金銭管理
10. 薬の管理
11. その他

12. わからない

ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ

必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

要保護児童対策地域協議会への通告ルート

必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 市区町村教育委員会経由
2. 学校から直接連絡
3. その他

選択解除

学校で行った支援（要対協との連携も含めて）

必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

支援した結果、子どもへの変化

必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

問20 問19で「2」と回答した方にお伺いします。 **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

それぞれの該当する直近のケースについて、1件ずつお教えてください。

問20（2）要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケース

性別（あてはまる番号1つを選択してください。）

- 1. 女性
- 2. 男性
- 3. その他

選択解除

学年（あてはまる番号1つを選択してください。） **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 小学1年生
- 2. 小学2年生
- 3. 小学3年生
- 4. 小学4年生
- 5. 小学5年生
- 6. 小学6年生
- 7. 中学1年生
- 8. 中学2年生
- 9. 中学3年生
- 10. 高校1年生
- 11. 高校2年生
- 12. 高校3年生

選択解除

学校生活の状況（あてはまる番号すべてを選択してください） **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 1. 学校を休みがちである
- 2. 遅刻や早退が多い
- 3. 保健室で過ごしていることが多い
- 4. 精神的な不安定さがある
- 5. 身だしなみが整っていない

6. 学力が低下している
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
9. 学校に必要なものを用意してもらえない
10. 部活を途中でやめてしまった
11. 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
12. 校納金が遅れる、未払い
13. その他

家族構成（あてはまる番号すべてを選択してください） **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他

家庭でのケアの状況を把握していますか（あてはまる番号1つを選択してください） **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. はい →a) からc) へ
2. いいえ →ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけへ

選択解除

a) ケアを必要としている人（あてはまる番号すべてを選択してください） **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい

6. その他

b) ケアを必要としている人の状況（あてはまる番号すべてを選択してください）

必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 高齢（65歳以上）

2. 若い

3. 要介護（介護が必要な状態）

4. 認知症

5. 身体障がい

6. 知的障がい

7. 精神疾患（疑い含む）

8. 依存症（疑い含む）

9. 7, 8以外の病気

10. その他

11. わからない

c) ケアの内容（あてはまる番号すべてを選択してください）

必須

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 家事（食事の準備や掃除、洗濯）

2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など

3. 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）

4. 外出の付き添い（買い物、散歩など）

5. 通院の付き添い

6. 感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）

7. 見守り

8. 通訳（日本語や手話など）

9. 金銭管理

10. 薬の管理

11. その他

12. わからない

ヤングケアラーと気づいた理由・きっかけ **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

つないだ機関 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

入力文字数：0/100

外部機関へのつなぎ方 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

1. 市区町村教育委員会経由
2. 学校から直接連絡
3. その他

選択解除

学校が行った支援（つなぎ先との連携も含めて） **必須**

選択肢の結果によって入力条件が変わります

支援した結果、子どもへの変化 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

問21 問19で「3. 外部の支援にはつないでいない（学校内で対応）」と回答した方にお伺いします。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

外部の支援につながらなかった理由を教えてください。

問21 問19で「3. 外部の支援にはつないでいない（学校内で対応）」と回答した方にお伺いします。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

どのように対応しているのかお教えてください。

問 2 2 選択肢の結果によって入力条件が変わります

ヤングケアラーの把握や支援にあたって工夫していること、気を付けていることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

問 2 3 選択肢の結果によって入力条件が変わります

ヤングケアラーの把握や支援にあたって難しいと感じることはどのようなことですか。具体的にお答えください。

問 2 4 選択肢の結果によって入力条件が変わります

問 8 の選択肢は、「ヤングケアラー」と思われる子どもを把握するためのチェック項目として作成したのですが、追加すべき項目や分かりにくい点や案があればお書きください。

<参考：問 8 の選択肢> 選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 学校を休みがちである
- 遅刻や早退が多い
- 保健室で過ごしていることが多い
- 精神的な不安定さがある
- 身だしなみが整っていない
- 学力が低下している
- 宿題や持ち物の忘れ物が多い
- 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
- 学校に必要なものを用意してもらえない
- 部活を途中でやめてしまった
- 修学旅行や宿泊行事等を欠席する
- 校納金が遅れる、未払い

←入力不要

問 2 5 問 1 7 で「ヤングケアラーと思われる子どもがいるか 3. わからない」と回答した方にお伺いします。 **必須** 選択肢の結果によって入力条件が変わります

その理由をお教えてください。あてはまる番号すべてを選択してください。

- 1. 学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
- 2. 不登校やいじめなどに比べ緊急度が高くないため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる
- 3. 家族内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい
- 4. ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない

5. その他**問26 ヤングケアラーを支援するために、必要だと思うことはどのようなことですか。****必須****あてはまる番号すべてを選択してください。**

- 1. 子ども自身がヤングケアラーについて知ること
- 2. 教職員がヤングケアラーについて知ること
- 3. 学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること
- 4. SSWやSCなどの専門職の配置が充実すること
- 5. 子どもが教員に相談しやすい関係をつくること
- 6. ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること
- 7. 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること
- 8. 学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること
- 9. ヤングケアラーを支援するNPOなどの団体が増えること
- 10. 福祉と教育の連携を進めること（具体的に）

 11. その他 12. 特にない**問27 ヤングケアラーに関してご自由に意見をお書きください。**

入力文字数：0/200

確認へ進む



入力中のデータを一時保存・読み込み

【申込データ一時保存、再読み込み時の注意事項】


- ・添付ファイルは一時保存されません。再読み込み後は、必要に応じて、ファイルを添付し直してください。
- ・パソコンに一時保存した申込データはパソコンで閲覧・加筆・修正することはできません。


・システムに読込む場合は一時保存した手続きの画面でしか読込めませんので、ご注意ください

「入力中のデータを保存する」では申込みの手続きが完了していませんのでご注意ください。

※入力中の申込データをパソコンに一時保存します。

※一時保存した申込データを再度読み込みます。

 入力中のデータを保存する

 保存データの読み込み

【操作に関するお問合せ先（コールセンター）】

○固定電話コールセンター

TEL：0120-464-119（フリーダイヤル）

（平日9：00～17：00 年末年始除く）

○携帯電話コールセンター

TEL：0570-041-001（有料）

（平日9：00～17：00 年末年始除く）

FAX：06-6455-3268

e-mail：help-shinsei-kumamoto@s-kantan.com

【各種手続き等の内容に関するお問合せ先】

直接担当課にお問合せください。